

2024年7月26日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 樋口 達夫
 (コード番号: 4578 東証プライム)
 問合せ先 IR部長 小暮 雄二
 (TEL 03-6361-7411)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月22日に公表しました2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績予想(2024年1月1日~6月30日)を、下記のとおり修正します。

記

1. 業績予想の修正について

2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績予想数値の修正

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 中間利益	中間利益	親会社の所 有者に帰属 する中間 利益	基本的1株 当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	1,100,000	185,000	95,000	96,000	76,000	74,000	136.35
今回修正予想(B)	1,108,000	213,000	126,000	142,000	110,000	107,000	197.16
増減額(B-A)	8,000	28,000	31,000	46,000	34,000	33,000	
増減率(%)	0.7%	15.1%	32.6%	47.9%	44.7%	44.6%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期中 間期)	947,537	155,047	130,690	138,833	105,058	102,594	189.06

修正の理由

当中間連結会計期間において事業が好調に推移したことにより、2024年5月22日に公表した業績予想を上方修正いたしました。

なお、2024年5月22日に公表した業績予想の修正は、発表時点で明確になっていた要因である AVP-786 の開発中止による減損損失、為替前提の見直し(138円/米ドル→150円/米ドル)、マイルストーン収入のみを考慮した計画として発表しております。

この度当中間連結会計期間において、主に医療関連事業と NC 関連事業の売上収益が堅調に推移しています。特に、医療関連事業における抗精神病薬「レキサルティ」、抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」、持続性抗精神病薬「エビリファイ メンテナ」「エビリファイ アシムトファイ」、V₂-受容体拮抗剤「ジンアーク」、およびニュートラシューティカルズ関連事業のアジアにおける「ポカリスエット」、北米における「ネイチャーメイド」が業績を牽引しています。また、持分法適用会社である欧州でミネラルウォーター事業を展開するアルマ社、中国で輸液事業を展開する中国大塚製薬の業績が計画よりも好調に推移しています。販売費及び一般管理費は計画を下回り、また研究開発費も AVP-786 の開発中止や米国における医療関連事業の開発組織の再編により計画を下回る見込みとなりました。

これらの結果、売上収益、事業利益、営業利益、中間利益および親会社の所有者に帰属する中間利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。なお、2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年8月1日の決算発表時にお知らせする予定です。

(注) 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

以上